

「仙台市図書館利用者懇談会」（令和7年度）を実施しました。

日頃、仙台市図書館を利用いただいている方々から様々な意見を直接伺い、今後の図書館サービスの向上に活かせるよう、全館（7館）で利用者懇談会を実施しました。



（市民図書館での様子）

《実施状況》

館名	実施日時、会場 出席者
市民図書館	令和8年2月8日（日）10時00分～11時50分 せんだいメディアテーク 2階会議室 出席者13名（個人利用者8名、市民図書館5名）
泉図書館	令和8年2月7日（土）15時00分～16時10分 泉図書館3階 読書推進活動室 出席者10名（個人利用者6名、泉図書館4名）
宮城野図書館	令和8年2月17日（火）13時30分～14時50分 宮城野図書館 視聴覚室 出席者10名（小学校1名、ボランティア団体2名、区文化センター1名、児童館（のびすく）1名、宮城野図書館5名）
太白図書館	令和8年3月6日（木）10時30分～12時05分 太白図書館地下1階 視聴覚室 出席者5名（ボランティア1名、個人利用者2名、太白図書館2名）
若林図書館	令和7年12月25日（木）10時30分～12時00分 若林図書館2階 視聴覚室 出席者13名（学校図書事務員7名、区中央市民センター1名、若林図書館4名、指定管理者1名）
広瀬図書館	令和8年2月4日（水）13時30分～15時 広瀬市民センター2階 会議室 出席者8名（個人利用者2名、児童館2名、広瀬図書館3名、指定管理者1名）
榴岡図書館	令和8年2月5日（木）13時30分～15時 生涯学習支援センター5階 第2セミナー室 出席者11名（個人利用者2名、生涯学習支援センター1名、歴史民俗資料館1名、管理事務所1名、パルシティ仙台運営協議会1名、小学校1名、中学校1名、榴岡図書館3名、指定管理者1名）

図書館から令和7年度の図書館事業の概要と取り組み状況を説明し、出席者全員から意見や要望をいただき、説明や回答を行いました。たくさんのご意見をいただいた中から、主なものをご紹介します。

《出席者からの主な意見》

【市民図書館】

- ・博物館との連携講座や光のページェント音楽会、郷土史講座に家族で参加し、普段読書をしない両親も図書館を利用するきっかけとなった。参考資料の紹介もあり、新たな本への興味も広がった。特に郷土史講座は、7階のシアターで写真を見ながら講師の話聞くもので、一緒に参加した父との会話も広がった。上の世代と一緒に楽しめる講座やイベントは素晴らしい取り組みであり、ぜひ今後も継続してほしい。
- ・こども向けのイベントが多い一方で、高齢者が参加できるイベントが少ないように感じる。
- ・図書館に所蔵のない本を、インターネットから購入リクエストができるようになると便利である。
- ・読書通帳（幼児から小学校低学年向けと小学校中学年以上向けの2種類があり、大人も利用可能）の存在を知らない利用者が多いのではないかと。もっと周知してほしい。
- ・おすすめ本のコーナーは、普段選ばない本との出会いにつながっている。
- ・「本の福袋」は非常に人気のため、広く知ってもらい、今後も継続してほしい。
- ・YA（ヤングアダルト）世代の読書活動推進に期待している。自身も読書のきっかけは高校生のときの図書館だったため、本好きが増えると嬉しい。
- ・長年図書館を利用しているが、紙芝居舞台の存在を最近知った。紙芝居は相手の反応を見ながら行えるため認知症にも効果が期待される。市民の財産として活用する機会がもっとあるはず。
- ・予算や人員の制約もあると思うが、仙台駅のコンコースやバス乗り場等、駅周辺にも返却ポストを設置してほしい。どこの館でも返却できるのはとても便利だが、次の予約が入っている資料は1日も早く返却したい。より身近に返却場所があると助かる。

【泉図書館】

- ・今年から配架ボランティアに登録した。様々な本に触れる中で、多くの方がいろいろな考えを持っていることを実感している。ボランティアを通して新しい考えに触れることができ、とても充実している。
- ・開館時間が30分早まって9時30分からになったことがありがたい。冬場は早く日が暮れてしまうが夏場は閉館時間まで余裕があるので、とても良い。2週間の期限が切れそうになっても、ネットで貸出期間を延長できたり、書籍を持って来て借りたい人がいなければまた延長できたり、そういうサービスもとても良いと思い利用している。
- ・展示について、ベガルタが近いことからサッカー関連の本を置いたり、医療関係の本をさりげなく並べたり、啓発や利用者手に取ってもらうための工夫がされていると感じる。
- ・中高生が学習できるスペースについては、昼のエリアもあり、他の図書館と比べてアットホームな雰囲気がある。自分は勉強目的では利用しないが、中高生が熱心に勉強している姿は良い刺激になっている。
- ・YAコーナーは、何かを知りたいときの入り口として非常に読みやすく、大人向けの難しい本より理解しやすい。中高生向けに書かれた岩波ジュニア新書等も時々借りている。入門書としてYAコーナーはとても良いと思う。最近仏教の本を借りたが、興味はあったもののずっと手をつけられなかった分野を、中高生向けの分かりやすい内容で読むことができた。
- ・中高生まではYAがあり、そこと高齢者との間には何もないので、YAを卒業した若者向けのコーナーがあったら良いかと常々感じている。自分の好きな本を読んでいるだけでは、知ることはできないこともあるので、ぜひその点を、より多くの本をご存知の司書さんに教えていただけたらと思う。
- ・ソファを含め席が埋まっていることが多い。円卓が空いていても、すでに3人埋まっていると入りづ

らい。可能であれば、1人掛けの椅子をもう少し増やしてほしい。

【宮城野図書館】

- ・「りんごの棚」は、こどもたちが本を手にとって横になったりしながら読めるようなスペースにあると良い。
- ・子育て世代向けの行事だけでなく、シニア世代向けに認知症に関する講座を開催していることを嬉しく思った。
- ・高齢の家族の食事について悩んだときに、図書館で本を借りて新しい知識を得た。高齢者の食育に関する講座を企画していただけると嬉しい。
- ・シニア世代の男性にも、おはなし会の楽しさを知ってもらいたい。孫に本を読むときのお手本にもなる。気軽におはなし会の様子を見ることができると良い。
- ・宮城野図書館のおはなしのへやは、仕切りがなくこどもたちが自由に出入りできる場所が良い。
- ・宮城野図書館は、複合施設であることや立地の面など、環境的に恵まれていると感じる。駅を利用する方や区役所を利用する方たちに地下にある図書館まで来てもらえるようにするにはどうしたら良いのかと思う。せっかく良い取り組みをしているので、こどもにも大人にももっと利用してほしい。
- ・デジタルにはデジタルの良さがあるが、紙には紙の良さもあると思う。ぜひこどもたちにも紙の良さを感じてもらいたい。
- ・複合施設の利点を活かし、各施設の事業などについて情報発信や広報を共有していけたらと考える。
- ・乳幼児親子向け行事で図書館職員に読み聞かせに来ていただいたが、やはり上手である。そのほか様々な行事などに協力いただけることをありがたく思っている。

【太白図書館】

- ・図書館の玄関が暗くわかりにくい。道路に面していないこともあり、施設名も確認しにくい。
- ・配架の順番がわかりにくい。書架案内図にも、もうひと工夫が求められる。配架ボランティアの活動中も、本の場所について問い合わせが多い。
- ・(仕方がないことと諦めてはいるが) 新刊がなかなか手元に来ない。新着資料については、貸出期間・取置期間を短縮する等の方法もあるかもしれない。
- ・朗読CD、朗読劇など、書籍以外の形で物語を伝える資料をもっと活用できると良い。
- ・電子図書館は利用していない。オフライン利用ができないことも一因。
- ・こどもたちが過ごすスペースを緩やかに区切る（フロアを分ける、異なる床色にするなど）ことで、静寂を求める一般利用者との共存がしやすくなるかもしれない。
- ・ふるさと納税で、図書館にピンポイントで協力できると良い。
- ・図書館のキャラクターを作って、広報に活用するのはどうか。

【若林図書館】

- ・学校図書館では外国語、特に中国、ベトナムなど英語圏以外の児童に向けた本の提供が困難である。
- ・特に高学年の女子児童から恋愛もののリクエストが多いが、学校図書館に置く本としては内容に疑問がある。
- ・保存しておくべき本のリストや、教科書に載っているが絶版になっている本のリストがあるとよい。

【広瀬図書館】

- ・社会教育施設として地域との連携を進めているのはとても良いと思った。

- ・本離れについては児童館でも感じている。こどもたちは漫画が好きだが、大人が読んでもらいたい本とは乖離もある。一方で、読み聞かせをすれば興味を持つ様子もある。こどもたちが読みたい本についてアンケートをとってみるのも良いのではないか。
- ・乳幼児の子育て中はフットワーク軽く動きにくい面があるが、児童館に来て遊ばせることはできる。図書館と連携して、その場で本を紹介したり貸出をしたりといったことはできるのではないか。結果として図書館の活用も広がると思う。
- ・普段からよく利用させてもらっているが、窓口が空いておらず待っていると声を掛けて対応してくれる。目配り気配りのよくできる職員だと感じている。
- ・郷土史の資料のアーカイブがあると良いと思う。学校の調べ学習で「図書館に行けば資料がある」と指導できるのはとても良い。
- ・本の表紙を見られるように並べてあるのはとても良いと感じている。
- ・節分に合わせて『泣いた赤鬼』（浜田広介）を展示し、読み聞かせもすることを検討した際に分かったのだが、保護者の中にはこの作品を知らない方も多し。ストーリーを紹介すると保護者から「読みたい」という感想をもらったりする。そのような親の世代にも知ってほしい本を展示するというのも良いのではないか。
- ・資料展示はいつも楽しみにしている。再開館後もぜひ続けてほしい。
- ・学校向けに実施しているパッケージでの本の貸出を、児童館に対して実施してもらえたらとてもありがたい。児童館の予算で購入できる図書には限りがあり、新しい本は買えるが古い本はなかなか買えない。

【榴岡図書館】

- ・ブックトレードの回数を増やしてほしいという意見を耳にする。1階のスペースは暗く空調もあまり効かない環境にもかかわらず参加者が増えており、これは図書館スタッフの力によるものだと思う。立ったまま会話する方も多いため、小さなイスを置いてもいいかもしれない。
- ・昨年度に引き続き、中高生の第三の居場所づくりとしてジュニアサポーターを受け入れているようだが、中高生の安心できる居場所づくりとしてはとても良い取り組みだと思う。
- ・図書館のカウンターは雰囲気が良い。スタッフの対応力だと思う。
- ・連携のアイディアは素晴らしいと思う。様々な連携で利用者を楽しんでもらえる工夫が窺え、企画力による熱意を感じる。
- ・歴史民俗資料館では年に3回の企画展・特別展、創作紙芝居読み聞かせのイベントも行っている。資料館ともぜひ連携を続けてほしい。今後、創作紙芝居はお正月や空襲など、歴史民俗資料館に沿った内容で連携できればと思う。
- ・生涯学習、探求学習に適した本が充実しているので、タイアップや連携を図っていく中で情報共有できれば、児童が借りに来たときに対応できるのではないか。
- ・大学生と高校生のこどもが小さい頃から利用している。自分のこどもたちも来館すると自分で本を選んで読んでいた。小学生になると、まちたんけんや弟子入りで図書館を利用する。こどもの成長と共に地域に密着していると感じる。
- ・広い図書館にあるような学習スペースがあると中高生も来やすくなると思う。